

『応用外語学報』投稿規定：日本語

論文の形式は以下の通りにして下さい。

一、書式

- (一) 用紙：A4横書き。
- (二) フォント：MS明朝、Jpn Mincho。ただし、外国語が入る場合には、**MingLiU、標楷體**（中国語）、**Times New Roman**（英語、ドイツ語）を使って下さい。
- (三) 中国語の英文表記はウェード・ジェイル式(Wade-Giles)または、ローマ**拼音**(Hanyu pinyin)方式を使って下さい。
- (四) フォントサイズ：論文タイトル（14pt、ボールド、中央揃え）、著者名、職位及び所属（14pt、ボールド、中央揃え）、本文（12pt）、**標題**（14pt、ボールドから順次12pt、ボールドへ遞減）、脚注（10pt）。
- (五) 余白：用紙の上下に各3.17cm、左右に各2.54cmの余白をとる。但し、表紙、裏表紙についてはこの限りではない。
- (六) 行送り：1.5行間隔で文字をグリッド線（格子）の高さに合わせる。

二、摘要

- (一) 位置：1ページ目の著者名、職位・所属の下に、2行空けて下さい。また、その下の本文もやはり2行空けて下さい。
1. 中国語の論文には中国語以外に英語の摘要も、日本語の論文には日本語以外に英語または中国語（あるいは両方）の摘要も付けて下さい。また、英題、著者名、職位、所属の英文表記も含め論文の最終ページ（参考文献の後）に付けて下さい。
2. 原稿にはキーワード4語～6語をつける。各要旨の下に2行空けて記入する。
例（キーワード：明治時代、翻訳理論…。Keywords: Meiji Era, theories

of translation...)

- (二) 字数：日本語摘要は摘要は1ページ以内、英文摘要は1ページ以内。
- (三) フォント：「摘要(Abstract)」は14pt、ボールド。文章は1.5行間隔で文字をグリッド線（格子）の高さに合わせる。

三、本文

- (一)：本文の長さは12ページ～25ページとする。（注、図表を含む）。
- (二)：段落の始めは、1字空け、両端揃えとして下さい。
- (三)：行送り：1.5行間隔で文字をグリッド線（格子）の高さに合わせる。
- (四)：段落間には、空白行を置かないで下さい。
- (五)：3行以上の引用は4文字分空けて独立段落として下さい。また、上下1行空けて下さい。
- (六)：文献、新聞、各種文書、芸術作品（映画、演劇、楽曲、彫刻など）の名称には『』（二重括弧）を用いて下さい。
例：『吉田茂伝』、『朝日新聞』、『ベートーベン交響曲第9番』。
英文の場合は、アンダーラインかイタリックにして下さい。
例：The Western Canon 或The Western Canon.
- (七)：論文、短曲、章名などには、「」（括弧）を用いて下さい。
例：「学而第一」
英文の場合には“double quotation marks”を用いて下さい。
例：“Reading after Freud”。
- (八)：もし、括弧、二重括弧が重なった場合には、最も外側の括弧を優先して下さい。詳細は、以下の例を参照して下さい。
 - 1. 書名の中に書名が含まれる場合：『「阿Q 正伝」の研究』。
 - 2. 篇名に篇名が含まれる場合：「『学而第一』再論」。
- (九)：本文に最初に使われた外国語（中国語を除く）の翻訳名を使う場合、原文を表記して下さい。例：

1. 人名：バイロン (George Gordon, Lord Byron)。
2. 書名：『ウエスタン・カノン』 (The Western Canon)。
3. 篇名：「フロイト読後記」 (Reading after Freud)。

(十)：その他の記号、例えば、引用符、省略記号などは、日本語フォントで使用して下さい。

(十一)：ページ数は、ページ下中央に記載して下さい。ただし、表紙には記入しないで下さい。

四、標題

本文の章と節はアラビア数字の 1.2.3. (下位分類は、1.1 1.2 1.3、2.1 2.2...) を使って、“0”から始まらないようにして下さい。

五、脚注

(一)：説明や討論に使い、文献だけの脚注は避けて下さい。

(二)：形式は脚注とし、当該ページの下に記入して下さい。ワードの方式に準じるようにして下さい。

六、参考文献

(一) 論文には、参考文献を付けて下さい。形式は、各領域の規範・習慣に従って下さい。例えば、語学、文学人文社会では、APA (American Psychological Association Style)、MLA (Modern Language Association Style) または Chicago Manual Style などです。

(二) 参考文献が漢学研究の領域の場合、これらも、各領域の規範・習慣に従って下さい。

例：

1. 漢字による表記例：

王安石 (編選)、『唐百家詩選』、王雲五 (主編)、台北：台湾商務印書館、1968 年。

2. 英文の場合で、ローマ拼音と英文翻訳とし、漢文を付さない場合。

(1) ウェード・ジェイル式Wade-Giles :

Wang, An-shih, comp. Tang pai-chia-shih hsuan (Anthology of One Hundred Poets of the Tang). Ed. Wang Yun-wu. Taipei: Taiwan shang-wu yin-shu-kuan, 1968.

(2) ローマ拼音式 :

Wang, Anshi, comp. Tang baijiashi xuan (Anthology of One Hundred Poets of the Tang). Ed. Wang Yunwu. Taipei: Taiwan shangwu yinshuguan, 1968.

3. 英文の場合で、ローマ拼音に原文を加え、英語訳を付さない場合。

(1) ウェード・ジェイル式Wade-Giles :

Chi, Chen-huai 季鎮淮. “Han Yu te shih-lun ho shih-tso” 韓愈的詩論和詩作, in Chung-hua hsueh-shu lun-wen chi 中華學術論文集. Beijing: Chung-hua shu-chu, 1981.

(2) ローマ拼音式 :

Ji, Zhenhuai 季鎮淮. “Han Yu de shilun he shizuo” 韓愈的詩論和詩作, in Zhonghua xueshu lunwen ji 中華學術論文集. Beijing: Zhonghua shuju, 1981.

備考：原稿提出時、書式に従った投稿原稿3部(A4版印刷したもの)と電子ファイル(USBメモリに収納)の2種類を外語學院事務局へ提出する。郵送する場合は原稿の電子ファイルを電子メール(journal@nkust.edu.tw)に添付して提出した上、印刷された投稿原稿3部を外語學院事務局宛て(824高雄市燕巢區大學路1號)に送付する。本規定に従わない原稿は受理しない場合がある。

中国語投稿規定と異なる場合、中国語の「學報徵稿」に記載されたそれぞれの

掲載基準に準ずる。

なお、この日本語規定は、あくまでも参考です。中国語の「學報徵稿」と異なる場合は、「學報徵稿」の規定が優先します。—